

ご使用の前に必ずお読みください。

お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（損害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。

警告 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

危険 気をつけていただきたい「注意」を表します。

禁止 指定した場所に触れないでください。

強制 必ず実行していただく「強制」を表します。

禁止 してはいけない「禁止」を表します。

電源プラグ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

高温 高温に注意してください。

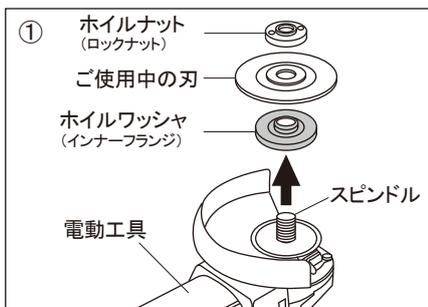
取付方法

* 下記のイラストは代表的なものです。ご使用中の電動工具の取扱説明書をよくお読みの上、本品を取り付けてください。

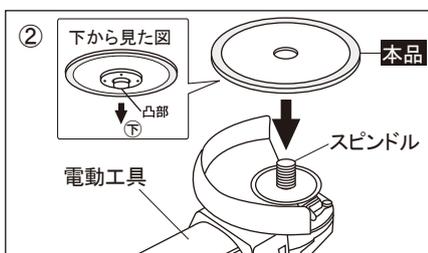
* 本品を取り付ける際、必ず電動工具のプラグをコンセントから抜いてください。また、素手では絶対に刃部に触れないでください。負傷する恐れがあります。

《通常切断》

① 電動工具のスピンドルを上に向け、ホイールナット（ロックナット）・ご使用中の刃・ホイールワッシャ（インナーフランジ）を取り付けます。



② 電動工具のロックピンを指で押さえスピンドルが動かないように固定しながら、本品のフランジ凸部が下になるように、本品をスピンドルに取り付けます。



* 本品を取り付ける際は、必ず手袋を着用した上で、手でしっかりと締めつけてください。

取付方法

《コーナーカット／面取り》

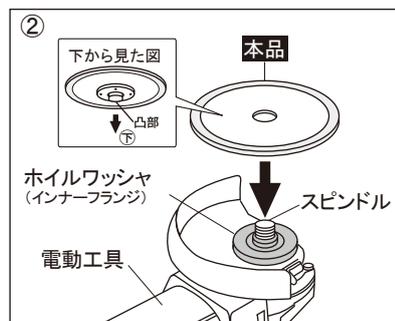
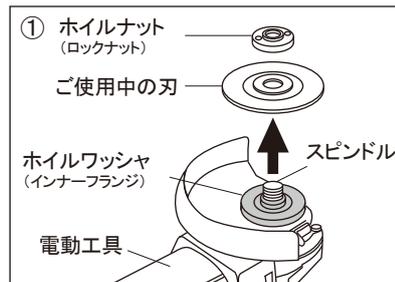
① 電動工具のスピンドルを上に向け、ホイールナット（ロックナット）とご使用中の刃を取り付けます。

* ホイールワッシャ（インナーフランジ）は電動工具に取り付けたままにしておきます。

② 電動工具のロックピンを指で押さえスピンドルが動かないように固定しながら、本品のフランジ凸部が下になるように、本品をスピンドルに取り付けます。

* 本品を取り付ける際は、必ず手袋を着用した上で、手でしっかりと締めつけてください。

* ホイールワッシャ（インナーフランジ）と本品を取り付けた状態でコーナーカットもしくは面取りができない場合は、電動工具に付属のアダプターを取り付けるなどして、必ず高さを調節してください。



ご使用の前に

* 文中で(※)のついている語句は、裏面の用語集をご参照ください。

《本品を取り付ける電動工具について》

危険

● 電動工具メーカー指定の保護カバー[ホイールガード](※1)を必ず正しく取り付けてください。

警告

● 電動工具の、本品を取り付けるスピンドルにガタ(※2)や振れ(※3)がないものをご使用ください。ガタや振れにより本品の取り付けが不十分になったり、異常振動(※4)で本品が破損して負傷したりする恐れがあります。

● 本品の最高使用回転数(※5)より低い無負荷回転数(※6)の電動工具に取り付けてください。

● 電動工具の銘版に表示されている定格出力以上では、絶対に使用しないでください。切れ味の低下・異常過熱が発生したり、本品が破損して負傷したりする恐れがあります。

《本品について》

警告

● 本品はコンクリート2次製品（鉄筋入コンクリートなど）・人工石（テラゾー）・塩ビパイプ・耐火パイプ・耐火レンガ・天然石（鉄兵石・御影石・大理石）・重量ブロックなどを切断するサイレントカッターです。それ以外の用途には使用しないでください。

● 本品は乾式(※7)・湿式(※8)のどちらでもご使用して頂けます。必ず電動工具の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。

● 本品に曲がり(※9)・ひび割れ(※10)・欠け(※11)・異常磨耗(※12)などがないかを確認し、これらを発見した場合は絶対に使用しないでください。加工する被削材が破損したり、本品が破損し負傷する恐れがあります。

注意

● 不適用被削材に使用した場合、異常磨耗(※12)・切れ味不良・異常過熱などが発生する恐れがあります。また、本品が破損し、飛散した破片で負傷する恐れがあります。

《作業環境について》



警告

- 作業場所は十分に明るくし、足場の安定した整理された環境下で作業を行ってください。予期せぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 身体の安全のために、使用する際は必ず保護メガネ・安全靴(滑り止めの付いた靴など)・保護帽・防じんマスク・耳栓などの保護具を着用してください。また、電動工具は使用中に高温になるため、必ず手袋(すべりにくいもの)を着用してください。
- 作業場所には、関係者以外近付けないでください。
- ご使用の際に火花を発生する場合があります。引火や爆発の恐れのある場所では使用しないでください。
- だぶついた服装・ネクタイ・そで口の開いたもの・編み手袋などは身につけないでください。また、長髪は帽子やヘヤーカバーでおおってください。回転中の本品や電動工具の回転部に巻き込まれて、負傷する恐れがあります。

ご使用の際に

*文中で(※)のついている語句は、右記の用語集をご参照ください。



危険

- 回転中の本品に、絶対に触れないでください。負傷する危険があります。
- 本品の取付方法については、この取扱説明書と電動工具の取扱説明書の指示を必ず守り、確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、本品がはずれるなどの予期せぬ事故が発生し、負傷する危険があります。
- ジグザグ切断・曲線切り・斜め切り【ガイド不使用】(※13)・コジリ(※14)などは絶対にしないでください。これらの使用方法では加工する被削材が破損したり、本品が破損し負傷する危険があります。
- 御影石・大理石に対してご使用になる場合は、側面使用(※15)は絶対にしないでください。加工する被削材が破損したり、本品が破損し負傷する危険があります。



警告

- 本品を取り付ける際、および刃を交換する際は、電動工具のプラグをコンセントから抜いてください。
- 加工する被削材がしっかりと固定されていることをご確認ください。作業が不安定になり、予期せぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 電動工具は使用回転数に達した後、1分間程無負荷回転し、異常音(※16)・異常振動(※4)が無いことをご確認ください。異常音・異常振動のまま使用すると、本品が破損し負傷する恐れがあります。
- 無負荷回転後異常がなければ、試し切断(※17)を行ってください。本品の刃部が均等にあらならない場合は、刃の交換を行ってください。
- 切断中に異常音(※16)・異常振動(※4)が生じた場合は、直ちに作業を中止してください。そのまま使用した場合、加工する被削材が破損したり、本品が破損し負傷する恐れがあります。
- 作業中に、本品に衝撃を与えないでください。加工する被削材が破損したり、本品が破損し負傷する恐れがあります。



警告



- 使用後はすみやかに電動工具の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。不意に起動し、負傷する恐れがあります。



注意



- 使用直後の本品は高温になっている場合があります。手などを触れないでください。

〈留意事項〉

- * 本品が冷えてから、本品に曲がり(※9)・ひび割れ(※10)・欠け(※11)の傷がないことをご確認ください。
- * 本品は、落下や衝撃が加わることの無い場所に保管してください。

用語集

- ※ 1, 保護カバー[ホイールガード]:
本品が回転中に破損した際、飛散する破片から使用者を守るための覆い。使用者が回転中の本品に接触して負傷するのを防ぐ役目も持つ。
 - ※ 2, ガ タ: 本品とスピンドルとのすきまが大きく、それによってがたつきが生じること。
 - ※ 3, 振 れ: 本品を電動工具に取り付けた際の、本品の外周および側面の振れ。
 - ※ 4, 異常振動: 通常回転時の一定の振動とは異なり、不規則に揺れ動くこと。
 - ※ 5, 最高使用回転数: 無負荷時の回転数も含めて、本品の回転数の限界を示す値。
- <本品の最高使用回転数>

刃部外径 105ミリ[品番 6085-105,0683-105]: 14500rpm

刃部外径 125ミリ[品番 6085-125,6086-125,0683-125]: 12200rpm
- ※ 6, 無負荷回転数: 本品を取り付けて空回転させたときの回転数。
 - ※ 7, 乾 式: 加工時に冷却水をかけないこと。
 - ※ 8, 湿 式: 加工時に冷却水をかけること。
 - ※ 9, 曲 がり: 本品が平行、平面状態でないこと。
 - ※ 10, ひび割れ: 刃部にさげ目や割れ目があること。
 - ※ 11, 欠 け: 刃部に部分的に欠損があること。
 - ※ 12, 異常摩耗: 刃部の側面の摩耗が外周の摩耗より大きく刃部の厚さが細る場合、あるいは両側面の形状が明らかに異なる場合の摩耗。
 - ※ 13, 斜め切り: ガイドを使わずに本品を傾けて切り込む切断方法。
 - ※ 14, コジリ: 被削材の表面をえぐるようにして、本品を押し当てること。
 - ※ 15, 側面使用: 本品の側面を被削材に押し当てて研削すること。
 - ※ 16, 異常音: 通常回転数時の一定の音とは異なり、高い金属性のビビリ・振動音が発生すること。
 - ※ 17, 試し切断: ご使用前に切り込みを少なくして、本品が被削材に接触した感じを見ること。



株式会社 カクダイ

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 札幌 ☎(011)704-1511 北陸 ☎(076)433-2851
 盛岡 ☎(019)632-3511 名古屋 ☎(052)504-1551
 大阪 ☎(06)6538-1121 仙台 ☎(022)239-8371 広島 ☎(082)278-2821
 福岡 ☎(092)611-4611 新潟 ☎(0256)36-0201